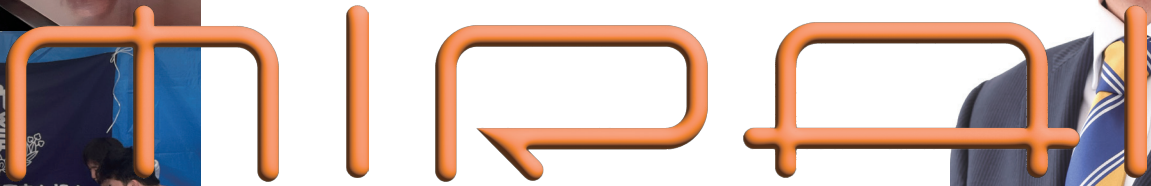


みらいへ、つなぐ、つながる。

北九州市議会議員

いずみひでお

市政報告



HIDEO IZUMI, Kitakyushu Municipal Administration Report

Vol.09

2025年も地域の課題解決に全力で取り組みます!

新しい年を迎えました。旧年中は大変お世話になりました。
昨年10月27日投票で第50回衆議院議員選挙が施行され、
与党過半数割れとなり不安定な政治状況が
年明けからも続くと言われていました。

私が福岡県連幹事を務める国民民主党は、
「手取りを増やす」のスローガンのもと、
103万円の壁の底上げやガソリン代の値下げを訴え
大きく躍進しました。

これからも市民の命と暮らしを守る具体的な
提案を行ってまいります。

12月3日から11日まで

北九州市議会12月定例会が開催され、
今任期中最後となる一般質問(裏面3項目)を行い
市長並びに教育長より答弁をいただきました。

その中で、北九州市発足から61年、
現在の行政区(7区)になり50年が経過し、
社会経済状況の激変や人口減少、少子高齢化を見据え
行政区の見直しについて質問しました。

前向きな答弁はいただけませんでしたが、
近い将来必ず検討が必要になると思います。

2025年も、地域の課題を一つずつ丁寧に
皆さまの声に耳を傾けながら邁進していきます。

本年も皆さまにとって
良い年でありますようにお祈り申し上げます。

いずみひでお

北九州市政に関するご意見・ご要望、身近な問題・課題などお聞かせください。

いずみひでお 事務所

〒802-0979 北九州市小倉南区徳力新町1-27-23-101

E-mail 123hideo0104@gmail.com

TEL 093-967-6615

FAX 093-967-6698



Vol.09

この市政報告は
政務活動費で作成しています。
発行：2025年1月



泉日出夫●1968年1月4日生まれ
●広徳小、広徳中、小倉工業高校、
九州国際大学卒業
●福岡県立豊津高校(現:育徳館高校)の
社会科講師を経て、
中小企業アドバイザーとして15年間勤務
●福岡県議会議員を2期8年
●国民民主党福岡県連幹事長、
下南方東町内会長、徳力校区自治連合会副会長、
徳力地区教育関係者人権教育推進協議会会長、
保護司その他兼任

いずみひでおのホームページ
<http://123hideo-fukuoka.kikirara.jp>



FaceBookにも日々の活動を更新中!

<https://www.facebook.com/izumi.hideo>



令和6年12月定例会
一般質問にて

激変する 社会に対応し 持続可能で 安心に暮らせる 街に!

◎今年の1月1日、静岡県浜松市の行政区が7区から3区に再編されました。急速に進行する人口減少や少子高齢化、WithコロナやAfterコロナにおけるライフスタイルの変化や日常生活でのデジタル化の進展など、激変する社会経済環境に対応するために、本市でも行政区の見直しを検討することが必要ではないですか。



【答弁】行政区の再編は、市民生活や企業の経済活動にも多大な影響を及ぼすものであり、北九州市の歴史的な沿革や地域の方々が培ってきたアイデンティティにも配慮した丁寧なアプローチが必要です。したがって、市民や経済界などからの議論が喚起され、気運が醸成されることになれば、その時点で考えていくべき課題と認識しています。

北九州市の答弁に対する意見と要望

行政区の再編による庁舎や職員配置の最適化と、現在進めている「スマらく区役所サービスプロジェクト」により、「書かない」「待たない」「行かなくていい」区役所の実現を図ることで、財政的負担の軽減と併せて市民に一層快適・便利な区役所サービスを提供できる可能性もあると考えます。

令和6年12月定例会
一般質問にて

通学時の 自転車ヘルメット 着用に努め、 大切な命を守る 街に!

◎道路交通法の改正によって、2023年4月1日から年齢を問わずすべての自転車利用者にヘルメットの着用が努力義務化され1年半が経過しました。高校生の中には、「髪型が崩れる」「制服に合わない」「なんとなく着用しにくい」などの理由から、着用しないケースが多いようです。どのような対策が必要と考えますか。



【答弁】高校入学時に自転車安全利用リーフレットを配布し、着用を呼び掛けています。県でも幅広く啓発活動を行なっているほか、県警では高校を対象に「自転車ヘルメット着用推進モデル校」の指定を進めています。若者がファッション性からヘルメットを敬遠することに対しては、髪型が崩れにくいデザインのものがあることを紹介するなど、関係団体の協力を得ながら啓発していきます。

北九州市の答弁に対する意見と要望

平成30年から令和4年までの5年間で、自転車事故で亡くなられた方の約6割が頭部に致命傷を負っています。ヘルメットを着用していない場合、着用時に比べて自転車事故における致死率が約4倍に高まります。自転車用ヘルメットを正しく着用することで若い命を救いたいと思います。

令和6年12月定例会
一般質問にて

産前産後の 不安や お悩みに 寄り添える 街に!

◎流産・死産・人工妊娠中絶といった周産期の死も含めて、「子どもとの死別」は、近親者との死別の中でも特に悲嘆(グリーフ)が強く、その対応が難しいとされます。死産届や死亡届を出したにもかかわらず、子どもの死について適切に配慮されず悲しみがさらに辛いものになったという当事者の声が多く寄せられているようです。本市において、子どもが亡くなった情報の共有が不十分で、不適切な対応となり家族を傷つけることがないよう、どのような対策を行っていきますか。



【答弁】死産届の関係各課の情報共有はしていないが、医療機関から母子健康手帳に添付された「はがき」で、流産等の情報を提供いただいています。しかし、情報提供がない場合もあり全ケース把握できているわけではありません。そのため、今後、関係部署において適切に情報共有ができるよう検討したいと思います。

北九州市の答弁に対する意見と要望

母子保健を担当する課は、死産届や死亡届の情報を関係各課と共有し、子どもを亡くした家庭に対して、子どもが育っていることを前提とした母子保健サービスの連絡を停止することが必要です。情報共有がなされ、子どもを亡くした家族や連絡をした職員につらい想いをさせずにすむよう努めていただきたいと思います。

いずみひでおの
ほっと、
ひとこと。



第50回衆議院選挙の投票率(小選挙区)が前回2021年の55.93%を2.08ポイント下回り、53.85%だったと総務省が発表しました。これは戦後3番目の低投票率です。衆議院選の投票率は戦後60～70%で推移していましたが、1996年に初めて60%を割り込み、民主党が政権交代を果たした2009年に69.28%を記録したものの、2012年以降、4回続けて今回も50%台と低迷しました。国の政策は新聞・テレビなどで大きく取り上げられ報道されますが、身近で生活に直結する地方政治の情報は市民の手元に届きにくいと思われます。これからも身近な情報を継続的に発信していきます。